

高度管理型魚類養殖技術の研究開発

— テーマ1-2 生産流通情報管理システムの研究開発 —

研究代表者 はこだて未来大 教授 長野 章

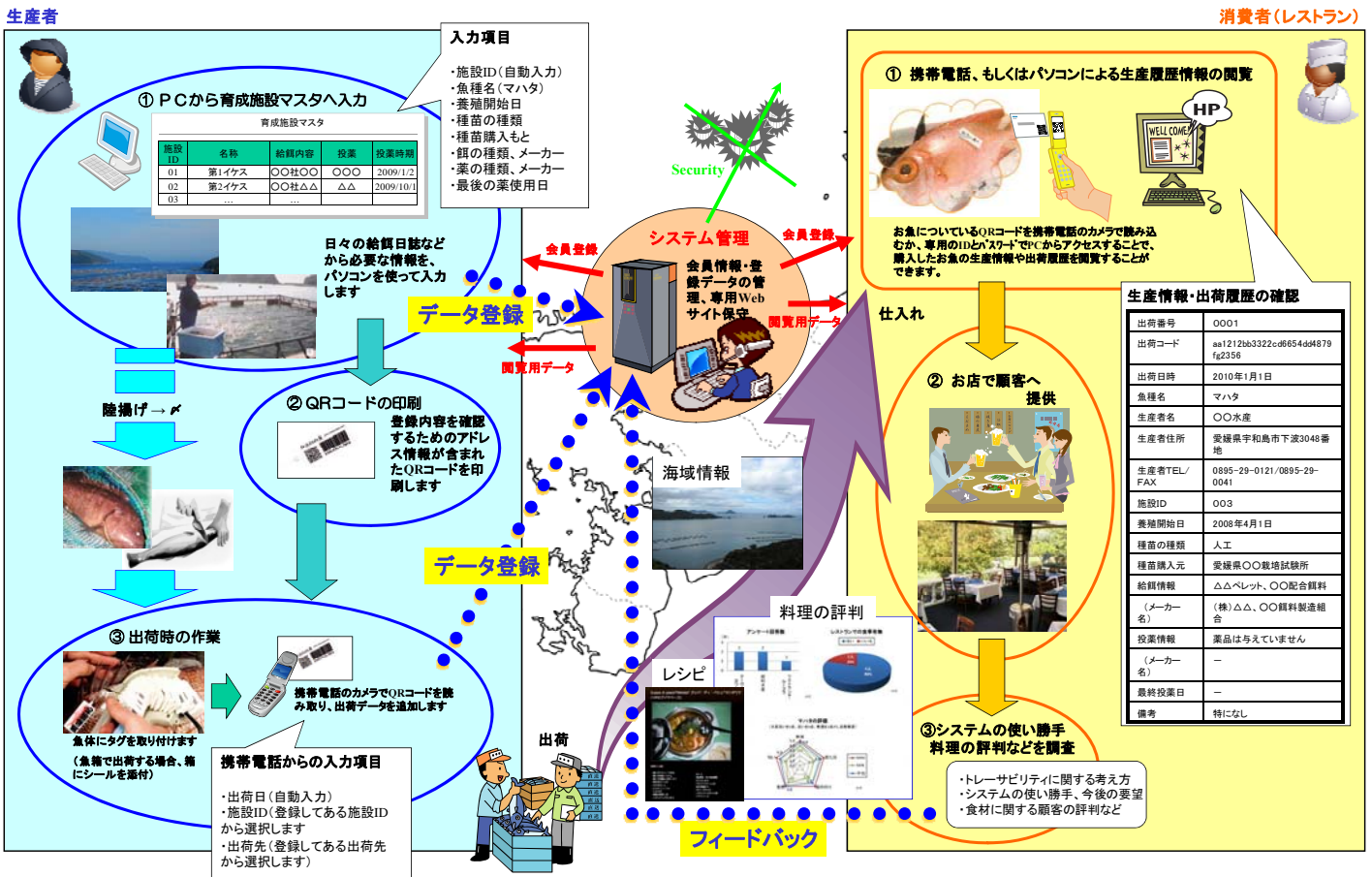
今年度の研究概要

今年度は、既存のトレーサビリティシステムに基づく「えひめ生産流通情報管理システム」の基礎システム構築、及び基礎システムを用いた仮想流通実証試験を行うことにより、最終的なシステム構築に向けての課題の洗い出し、及び消費者によるフィードバック項目の抽出に関する研究・開発を行いました。

次の研究目標を達成するために、フィードバック機能付きトレーサビリティシステムを構築し、養殖マハタの生産・流通実証試験を行いました。

- ①システムの有効性把握と改良点抽出
- ②消費者からの要求事項及び品質評価の把握
- ③愛媛産養殖魚のブランド化支援のためシステムへの追加事項
- ④生産者自らのデータ入力システムの用意性検討

生産流通情報管理システム<仮想流通実証試験>の概要



次年度の研究方向

本年度の開発システムをベースに、仮想流通実証試験から得られたシステム運用上の問題点、要求事項に基づく改良検討、機能追加を行います。次年度についても、改良システムによる仮想流通実証試験を行い、H23年度までに消費者によるフィードバックに基づく、生産計画・販売計画への反映を可能とするシステムの構築を図ります。